

1

2

3

4

旅するランバー・トレイン

子どもと旅する木の列車

永く木と関わりながら、木育活動に取り組んできた材木会社が創業90年を機に、その活動をより活発に行う**新たな基盤**として「ランバー・トレイン」はつくられました。

旅するように**地域をめぐる**ことから列車のような外観をしていて、その小さな平面の中に用途の異なる**複数の空間**を設けることで子供たちに**多様な体験**をしてもらうことができます。これは子供への木育を通じて、**木にまつわるモノやヒト**を巻き込みながら自然と人間の**持続可能な新しい関係性**を探すためのプロダクトです。

■ 外観



4号車のおもちゃは秩父産木材をデザインしたおもちゃ「TUMICCO」を展示



2本の横架材は各ユニットの屋根パネルにダボによって落とし込むことで全体を一体化します

■ 設置方法



運搬：
全てのユニットを**トラック**台で運搬することができます。



搬入：
各ユニットは半分に分割できるので**一人で台車**で動かせます。



連結：
壁および床の中央部下地を連結します。

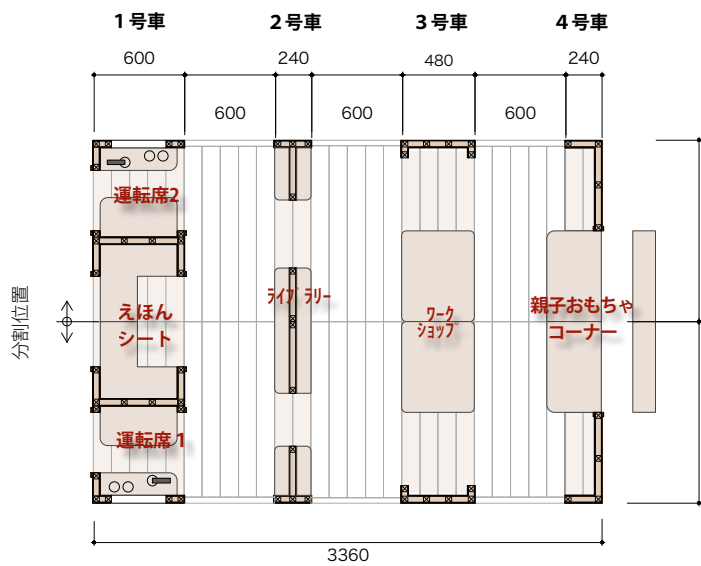


組み立て：
壁面の連結時は、**ベルクロ**にて取り付く仕上パネルを脱着します。ボルトはM6。

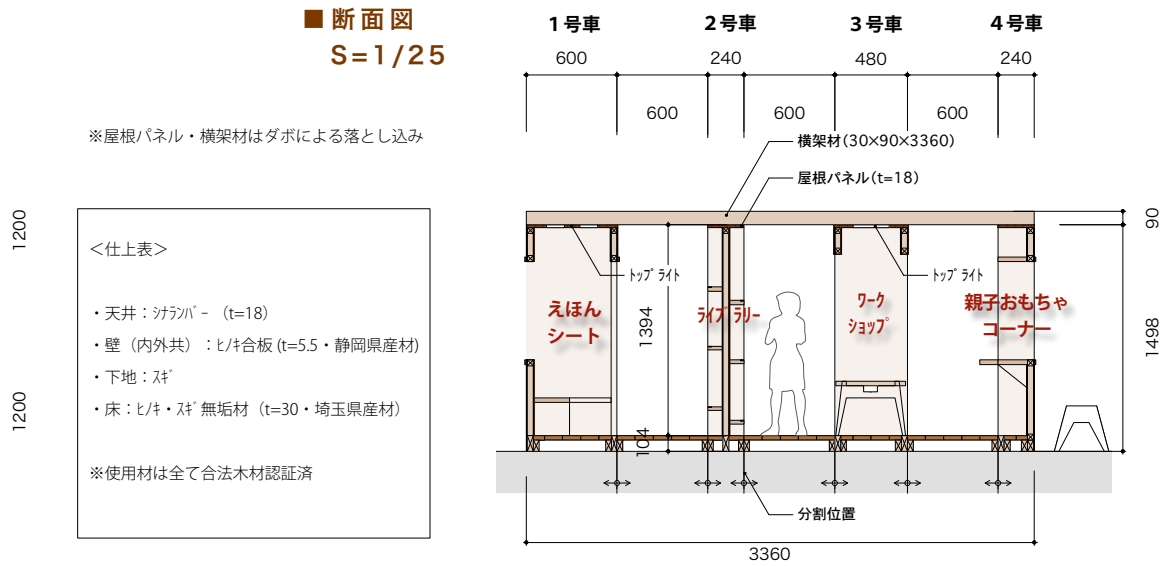


各ユニットは屋根パネルを設置後、2本の横架材を渡すことで全体をつなぎます。

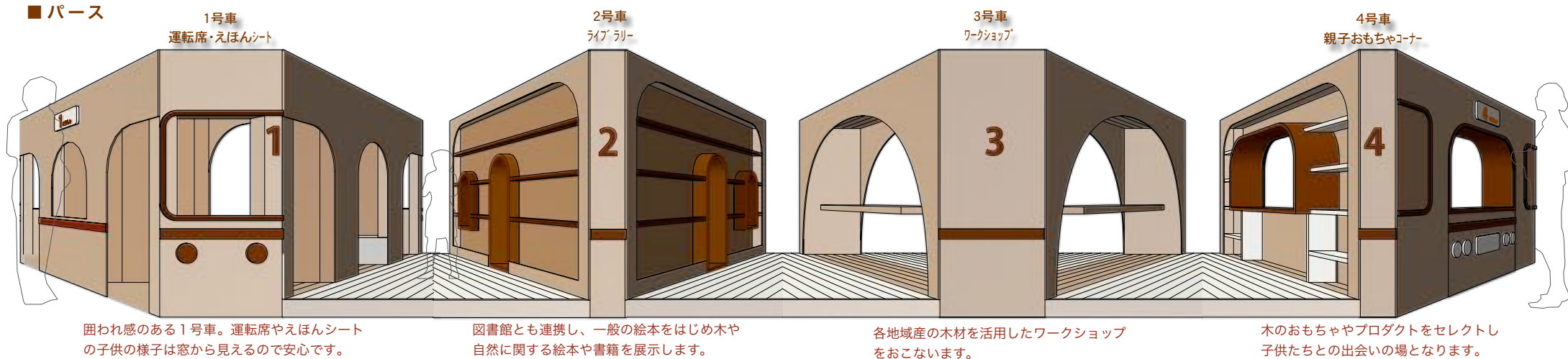
■ 平面図
S=1/25



■ 断面図
S=1/25



■ パース



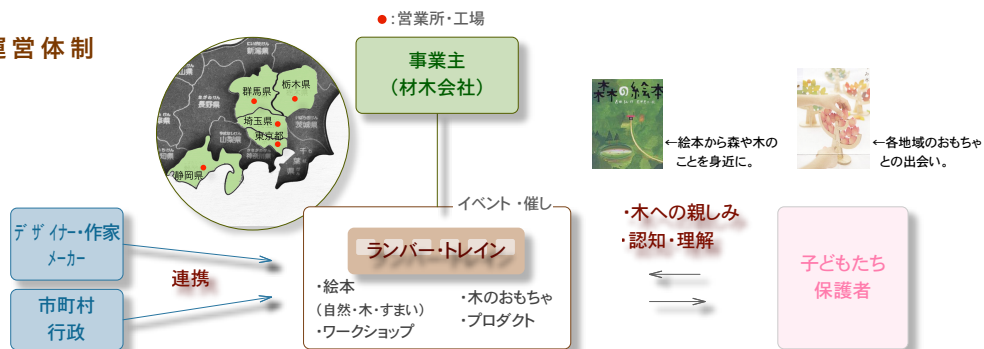
囲われ感のある1号車。運転席やえほんシートの子供の様子は窓から見えるので安心です。

図書館とも連携し、一般の絵本をはじめ木や自然に関する絵本や書籍を展示します。

各地域産の木材を活用したワークショップをおこないます。

木のおもちゃやプロダクトをセレクトし子供たちとの出会いの場となります。

■ 運営体制



事業主の関東近郊のネットワークを活かし、それぞれの地域の行政やメーカー、作家と連携することで、多くの子どもたちに木と触れ合う機会ができることを目指しています。